

今日の力

2026年2月9日 ~ 2月15日

翻訳 キャンベル 栄子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

礼 拝 の 焦 点

聖書朗読 ヨハネの福音書 2:12~25

また、鳩を売る者に言われた。「それをここから持って行け。わたしの父の家を商売の家として
はならない。」
ヨハネ 2:16

この箇所を読んで、イエス様はユダヤ人の伝統を否定したのだと考える人もいるようですが、実際はそうではありません。そもそもイエス様がカペナウムからエルサレムへ旅をしてこられたのは、過越の祭りを祝い、神殿で礼拝するためです。イエス様は神殿での礼拝に加わるためにエルサレムにおられました。

それでは、この状況の何が問題だったのでしょうか。商売人たちは、長旅で犠牲の動物や鳥を持参できなかった礼拝者たちに便宜を図り、それらを販売していました。同様に、両替人たちは巡礼者が神殿への税を納められるように、適切な貨幣に換金していました。それなのに、何がいけなかったのでしょうか。

問題は焦点の合わせ方です。礼拝の中心は本来、神様への敬意であるはずなのに、人びとの関心は利便性や取引の方に転じてしまっていたのです。神殿は、実際のところ、スーパーマーケットのようになっていたのです。

今日ではどうでしょうか。もし私が礼拝に来ていながら、この後の午後の予定や、礼拝に誰が来ているか来ていないかや、あるいは昨晚観た映画のことなどに心が向いてしまっていたなら、それは教会の入り口で料理コンテストのチケットを売っているのと何ら変わりません。

私たちが神様を礼拝する時には、私たちの心と意思がただ神様だけに向けられますように。

讃美歌 6 われら主をたたえまし

祈り 私たちの神であり父なる神様、私たちが行うすべてのこと、礼拝や献身、あなたの御前を歩む日々の生活において、いつもあなたを第一に置くことが出来ますように。イエス様を通してお祈りします。アーメン。

ノースカロライナ州 ダーラム / ポール L・ワトソン

2月10日(火)

満たされていますか

聖書朗読 ヨハネの福音書 4:1～26

私のたましいは黙って、ただ神を待ち望む。私の救いは神から来る。神こそ、わが岩。わが救い。わがやぐら。私は決して、ゆるがされない。 詩篇 62:1～2

あなたはこれまでに、何かまたは誰かがすべてを解決してくれると期待したことはありませんか。それは、人間関係や昇進、引っ越し、人生の再スタートかもしれません。

私たちは、ずっと抱えてきた心の痛みを埋めようとして交際や結婚を始めることさえあります。しかし、それがうまく行かなくなったとき、私たちは、関係が壊れているのではないか、相手に何か問題があるのだろうかと考えてしまいます。

実のところ、結婚やどのような人間関係も、それは私たちの究極の喜びや平安の源にはなり得ません。それは本来、そのような目的で与えられたものではないのです。そこにすべての期待をかけてしまうと、重圧と負担はあまりにも大きくなり、両者ともそれを背負い切れなくなってしまいます。

私たちが人間関係で感じる失望や緊張は、もしかしたら、神様の代わりに何か別の物や人で心を満たそうとしていることを教える聖なるサインなのかもしれません。

私たちの心の最も深い部分を満たすことができるのは神様だけです。神様こそ生ける水です。神様におゆだねすると、私たちは何かを求めるのではなく、喜んで与えようとする満たされた心を持って人間関係に向き合えるようになります。

讃美歌 217 あまつましみず ながれきて

祈り 主よ、私が間違ったところで満足を得ようとしていたことに気づかせてください。喜びの源である、あなたに戻れますよう助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 デンバー / アナ・ポーター

2月11日(水)

池のひとりでの癒し

聖書朗読 ヨハネの福音書 5:1～9

イエスは彼に言われた。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」 ヨハネ 5:8

ベテスダの池、“あわれみの家”と呼ばれていたその池は聖なる場所とされていました。池の底には地下水が流れていて、時折、水がかき回されることがありました。多くの人たちは、これが御使いによる癒しのしるしだと考えていました。そして今日でも、私たちの中には、目の前に神様の力が現れているにもかかわらず、偽りの希望の淵で待ち続けている人がいます。

イエス様は、38年もの間、病気にかかっている人に近づかれたとき、説教をされたわけでもなく、恥をかかせたり、叱ったりもされませんでした。イエス様は「よくなりたいか。」とだけお尋ねになったのです。ヘンな質問に聞こえるかもしれませんが。その人が癒やしの池のほとりにいたということで、よくなりたいと思っていることは明白ではないですか。

しかし変化は、たとえ癒やしであっても、時に恐ろしいものです。生まれつき盲目だった私の友人は、24歳の時に手術を受け視力を得ました。最初、彼は盲目だった頃に戻りたかったと認めました。新しい生活に適応することがあまりにも大変だったのです。私たちも罪から癒される必要があると気づいた時、その変化を恐れてはいないでしょうか。

ベテスダの池にいたこの人が受けた身体の癒やしは、新たな自己、新しい責任、新しい生き方を意味していました。これは霊的にも同じことが言えます。なかには現状に満足している人もいます。しかし、罪からの癒しは、私たちに完全な変化を求めます。イエス様は今日も私たちに問いかけておられます。「よくなりたいか」と。

讃美歌 268 まごころもて 仰ぎまつらん

祈り 父なる神様、私を清め完全なものとしてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ブライス / スティーブン・クラーク・ゴード

2月12日(木)

聞 い て 学 ぶ

聖書朗読 ヨハネの福音書 6:41～51

預言者の書に、『そして、彼らはみな神によって教えられる』と書かれていますが、父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところに來ます。 ヨハネ 6:45

イエス様が『わたしは天から下って來た』と言われたとき、聞いていたユダヤ人たちはつぶやき始めました。あれはヨセフの子で、われわれはその家族を知っている。そのイエスではないか。彼らはイエス様の人間としての姿しか見ようとせず、その神性を受け入れることができませんでした。自分たちはイエスを知っていると思っていましたが、父なる神様のことを正しく聞こうとも学ぼうともしていなかったのです。

今日でも多くの方がイエス様の神性を受け入れていません。イエス様を知っていると言いながら、単なる道德の教師、預言者、あるいは歴史上の人物としか見ていない人もいます。しかし、もし彼らが神様の声に耳を傾け、神様から学ぶなら、真実のイエス様を知ることができるでしょう。

ローマ人への手紙10章17節に、『信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。』とあります。私たちは聖書を読み学ぶことによってのみ、父なる神様の御声を聞くことができます。聖書の中で私たちは、神であり同時に人であるイエス様に十分に会えることができるのです。そしてイエス様を知ることによって、私たちは救いの賜物を受け取ります。

私たちが聞いて学ぶとき、主は大きな祝福となってくさるでしょう。

讃美歌 1 神の力を とこよにたたえん

祈 り 天の父なる神さま、私たちに御言葉を与えてくださり感謝します。私たちがいつもあなたに聞いて学ぶ忠実な生徒であれるように助けてください。そして、イエス様とあなたを知る知識において成長することができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 アビリーン / ナンシー・ファーガソン

2月13日(金)

イエス様がしるしです

聖書朗読 ヨハネの福音書 6:52～59

このことであなたがたはつまずくのか。 ヨハネ 6:61

私が好きな看板の文句の一つに「あなたはしるしを探していますか。これがそうです。」というものがあります。実に多くの人たちが、実際に聞こえる御声とか、奇跡や確証の瞬間といった、神様からのしるしを探しています。しかし、このしるしを求めることは今日に始まったことではありません。

ヨハネの福音書にはイエス様による七つの奇跡が記されており、それぞれ、私たちが信じるために示されたものです。ヨハネ6章には二つのしるしがあります。まずイエス様は大群衆にパンと魚を与えられました。満腹した人々は、イエス様のことを『まことに、この方こそ、世に來られるはずの預言者だ。』(6:14)と言いました。その翌日、イエス様は『いのちのパン』という、はるかに素晴らしいものを与えようと言われました。すると群衆は賛美するどころか、つぶやき始めました。

なぜでしょうか。前日、人々はイエス様を王にしようとしていました。しかしパンと魚が食べてなくなると、彼らの熱意も消えてしまいました。彼らは目に見えるしるしを求めていて、靈的なしるしを逃してしまいました。彼らが欲しかったのは贈り物であって、贈り物を与えてくださるお方ではありませんでした。

では私たちはどうでしょうか。いまだにしるしを探していますか。イエス・キリストこそがしるしです。イエス様は天から下って來たまことのパンです。イエス様をいただきましょう。そして信じましょう。イエス様のみ言葉をいただくと、私たちは二度と空腹にはなりません。



讃美歌 187 主よ いのちのことばを

祈 り 主よ、私たちがこの世のことに気を取られ、あなたからのしるしを見落としてしまう時、お赦しください。私たちに必要なしるしはすべて、いのちのパンであられるイエス様にあることに気付けるよう助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョシュ・バーネット

2月14日(土)

先生

聖書朗読 ヨハネの福音書 7:45～52

イエスがこれらの言葉を語り終えられると、群衆はその教えに驚いた。というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。

マタイ 7:28～29

あなたもおそらく心当たりがあると思います。私にはあります。何の話をしているかといえば、それは、私の心に深く触れ、魂を見つめ直すほどの影響を与えてくれた先生のことです。そうです。私たちは皆、私たちの人生を形作る手助けをしてくれた先生に出会ってきました。先生は、医師や軍人、救急救命士、家族、友人と同じくらい大切な存在です。私たちはまさに自分を教えてくれた人たちによって今の私たちになったのです。

では、私たちの主であり救い主であるイエス様は、当時、そして今も、どのような教師であられるか想像できますか。イエス様はご自身の権威によって語られました。そして、今も語っておられます。イエス様ご自身が御言葉です。その教えに耳を傾けた人たちは皆、その教えに驚嘆しました。イエス様を捕らえるために遣わされた神殿の役人たちでさえ立ち止まって聞き入ったほどです。彼らはその御言葉に抵抗するどころか、ただ圧倒され、深く心を打たれました。

イエス様はすべての教師の頂点に立つお方です。

あなたは私たちの先生であるお方に感謝していますか。主が今も私たちを教え続けてくださるように、聖書を読みましょう。そして、従いましょう。それから今日、あなたの行動と愛を通して、他の誰かにその教えを伝えてください。教師は人の人生に違いをもたらします。

讃美歌第二編 11 この世のものみな

祈り 天のお父様、へりくだって、あなたが御言葉を通して教えてくださっていることを思います。私がいつもあなたの義に飢え渇く者でありますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 キングストン / W スコット・ウッドリー

2月15日(日)

私は両手を上げて祈ります

聖書朗読 ヨハネの福音書 8:21～30

わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」

ヨハネ 12:32

イエス様は、ご自身が地上から上げられるとき、すべての人をご自分のもとに引き寄せると言われました。すべての人ですか。そうです。すべての女性、男性、子供が何らかの形でイエス様を上げるのです。

でも、イエス様を上げる方法は二つあります。それはイエス様を賛美することか、もう一つは十字架につけることです。詩篇63章4節にはこうあります。『それゆえ私は生きているかぎり、あなたをほめたたえ、あなたの御名により、両手を上げて祈ります。』イエス様だけが救い主であり、私たちの罪のための恐ろしい刑罰を代わりに負ってくださった方として、私たちはイエス様を高く上げます。

しかし、イエス様が『上げられる』方法にはもう一つあります。イエス様は天と地の間で十字架にかけられ、文字通り上げられました。『イエスは自分がどのような死に方で死ぬかを示して、このことを言われたのである。』(ヨハネ12:33)ですから、私たちはイエス様を賛美して高く上げるか、もしくは拒んでイエス様を十字架にかけた側に立つか、そのどちらかなのです。

ある人たちはイエス様に賛成も反対もせずに中立でいようとしませんが、それは出来ません。私たちの言葉と行動は、日々、イエス様を賛美しているのか、それともイエス様を突き放しているかのどちらかなのです。

讃美歌 24 父のかみよ 夜はさりて

祈り 天のお父様、私たちに御子イエス様という言葉に言い表せないほど素晴らしい贈り物を授けてくださり感謝いたします。私たちはイエス様を十字架にかけた罪を悔い改めます。私たちの心と意思を新しくしてください。偉大なるイエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウエストレイク・ビレッジ / ビル・ヘネガー